

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な財政運営	政策の目指す姿	財政を健全に維持しています	施策主管課	収納課	施策主管課長名	藤井 保宏
	施策No.	2	施策名	自主財源の確保	施策の目指す姿	市税等の自主財源が確保されています	関係課名	定住推進課、市民税課、資産税課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市の自主財源は、歳入全体に占める地方交付税を下回っており、その地方交付税も優遇措置の段階的な縮小により減少が見込まれています。 自主財源の中でも大きな割合を占める市税等の確実な確保が課題となっています。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

- ・滞納整理を進めるにあたっては、徴収職員が十分な知識とスキルを備えることが必要であることから、各種研修会への参加、課内研修の実施、岩手県地方税特別滞納整理機構への職員派遣により徴収実務能力の向上を図り、徴収困難事案を効果的に滞納整理する。
- ・コンビニエンスストアや金融機関に向かなくても、自宅などで納付手続きができるクレジットカード納付やモバイルレジの導入を検討する。
- ・イーハトーブ花巻応援寄附金については、記念品（返礼品）の情報を見た方に訴える効果的な表示方法や寄付者の意向をとらえた宣伝方法を検討するとともに、イーハトーブ花巻応援寄附金の寄付の新しい仕組みとして、クラウドファンディング型の制度導入や、ふるさと納税をきっかけにして本市に対するつながりを作る仕組みを構築し、寄附金額の増加を目指す。

（反映状況）

- ・岩手県地方税特別滞納整理機構への職員派遣、および徴収困難事案を移管し当該機構との連携により滞納整理を進めた。このことにより徴収困難事案滞納の回収と職員の徴収実務能力が向上した。
- ・コンビニエンスストアや金融機関に向かなくても、自宅などで納付手続きができるクレジットカードとペイジーによる納付について、R2年度当初から導入することとした。
- ・イーハトーブ花巻応援寄附金については、出品者に対する写真撮影講座を開催し、返礼品情報をより効果的に表示するための支援を行った。また、ふるさと納税ポータルサイトを新たに追加導入し、受付窓口の複数化を行うことで、寄付者の利便性向上に努めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 安定した自主財源の確保

- 公平かつ適正な課税
 - ・申告が必要な個人事業主等に配慮し、身近な会場で申告ができるよう、まなび学園及び各総合支所において市民税の申告相談を実施した。
- 納税意識の醸成
 - ・納税相談の実施。納税貯蓄組合活動への支援。
- 納期内納付の促進
 - ・口座振替納付制度の利用促進。市広報やHP等による納期限の周知。コンビニ収納及び郵便局窓口収納の周知。
- 市税等の収納率の向上
 - ・収納率 市民・固定・諸税H29年度97.03%→H30年度97.47% (0.44%)、国保税H29年度87.34%→H30年度88.34% (1.00%)、後期高齢H29年度99.36%→H30年度99.52% (0.16%)、介護保険料H29年度98.59%→H30年度99.06% (0.47%)
- 滞納処分の実施
 - ・滞納整理の早期着手、差し押さえ、公売を実施。
- イーハトーブ花巻応援寄附金の情報発信の強化
 - ・5,000円以上の寄付を行った寄付者に対して返礼品を送付。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
1	収納対策事務 滞納市税等の収納、納税相談、未納者への滞納処分を実施。広報等による口座振替・コンビニ収納及び郵便局窓口収納の周知。(差押件数:734件、換価取立:1,429件、122,756千円)	収納課	一致	直結	-
				A	
2	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業 イーハトーブ花巻応援寄附金(ふるさと納税)の受け入れと寄付者への返礼品送付を行った。(受け入れ 12,672件 190,278,000円)	定住推進課	一致	直結	B
				A	

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・イーハトーブ花巻応援寄附金については、寄付者のニーズに沿った仕組みや返礼品等の内容の見直しが随時必要である。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市税等の滞納には徴収が困難な事案(高額滞納、複数の自治体にわたる滞納)が多く含まれており、滞納整理によりその回収に努めているが、全てに行き届いた滞納整理ができていない。 納税者の利便性を図るための納税環境の更なる拡充。 ふるさと納税については、一定程度の制度周知が図られている状況と見受けられるが、本市に対して寄付者の目が向けられるよう、仕組みや返礼品などの内容について、随時見直しを行うとともに的確なPRを行っていく必要がある。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 滞納整理を進めるにあたっては、徴収職員が十分な知識とスキルを備えることが必要であることから、各種研修会への参加、課内研修の実施、岩手県地方税特別滞納整理機構への職員派遣により徴収実務能力の向上を図り、徴収困難事案を効果的に滞納整理する。 クレジットカードとペイジーによる納付を令和2年度に開始するので、導入後の効果的な運用を検証しつつ、更なる納付環境の整備を検討する。 イーハトーブ花巻応援寄附金については、これまで本市に寄付いただいた寄付者の動向(地域・寄付額・返礼品の種類、時期など)を分析し、新たな返礼品の発掘を行うとともに、寄付の新たな仕組みづくりを検討し、寄付額の増加を目指す。
--